

「あすへひとこと」(邑楽町老人クラブ連合会・あすへひとこと編集委員会)は、邑楽町在住の
 お年寄りたちの貴重な体験談を、邑楽町あすへひとこと編集委員会が編集・発行したものです。

あすへひとこと

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に残してほしい貴重な話しをお届けします。
 お年寄りたちの貴重な体験談(第七回)



修学旅行の思い出

(長柄尋常高等小学校)

大正九年、高等科の男子数十人は、日光へ修学旅行を行った。

出発の日、午前三時に校庭に集合。それから、足どりも軽く足利両毛駅まで徒歩。一行の笑顔に乗せた列車は予定の時刻に発車、目的地日光へとひた走るのであった。

だれの視線も、変わり行く窓外の景色だ。日光駅で乗り換えて馬返しへ。そこで下車した一行は、元気でいろは坂を上る。いよいよ待望の中禅寺湖、男体山、華厳ノ滝などの名勝を目の当たりにするのである。日光の自然は、いかになく見る人の心を楽しませるのであった。思い出に残る上州屋の一夜、

疲れていても談笑で眠れない。ふけゆく夜と旅愁を歌い出す者、寂しくなるからやめてくれという者、あばれ小僧にも、やつぱりそうした感傷もあり優しさもあるのである。

明ければ快晴の日和。大谷川にかけられた、朱塗りの神橋も鮮やかであった。老杉の下の参

道を行くと名だたる陽明門(日暮門)である。案内人の説明に、「もつとよいものだと思っていたよ」と言う者もあれば、「これが眠り猫です」と指摘されてはじめて分かり「なあんだこれか」という者もある。これではまさに、猫に小判だ。

本殿の参拝をすませて、なき竜、五重の塔と見物は続く。社殿という社殿の壁は、すべて国宝級の彫刻と、歴史的絵画で埋められて余すところがない。

世の人はこのけんらん豪華に對して、「日光を見ないでけつこうと言うな」と言う。うべなるかな。

こうして一同は、所定の見物を終え、みやげ話に打ち興じながら、帰宅したのであった。

高齢者の語り第一集

「あすへひとこと(昭和六一年二月一日発行)―思い出をたどって―より

「修学旅行の思い出」
 故・桜井正吉さん(店高原・二八区)



日光東照宮東回廊の奥社参道入口の「眠り猫」



お知らせ

あすへひとこと第十集「邑楽町風土記」が発刊となりました。高齢者の伝承活動として生まれ、町の貴重な文化遺産を後世に伝え続けて25年。今回は、テーマを一つに絞らず、多種多様な切り口で語られています。

▼販売場所 邑楽町公民館、長柄公民館、ヤングプラザ、社会福祉協議会

▼販売価格 1冊500円

▼問合先 長柄公民館 ☎89-0123

ひとりごと From editors

▼ヒマラヤの小さな国ブータンの国王が来日し、国会で演説している姿をテレビで見ました。この国は精神的な豊かさを重視する「国民総幸福量」を提唱し、国民の約97%が「自分は幸福」と感じているそうです。この幸福量はお金や健康でなく、人間関係、家族関係の平和と交流を重視しているとのことでした。▼かたや先進国と言われている日本では、経済的な豊かさの中で、大多数の人は日々ストレスに追われているように感じます。東日本大震災や円高など大変な状況が続いていますが、ブータンのようにだれもが幸せを感じられるように、みんなが支え合いこの難局を乗り越えていかなければと思います。(多)



Photo 原田隆雄(記録ボランティア)

まの風景

朝霧かかる
 田園の風景
 (篠塚坪谷)



広報おうら

ORA TOWN Public Relations



平成23年12月号 No.543

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5511 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail kohoo@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
 2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
 携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

